

2018年11月19日

Drone Fund

Drone Fund がドップラーライダーでドローンの安全運航を目指すメトロウエザ

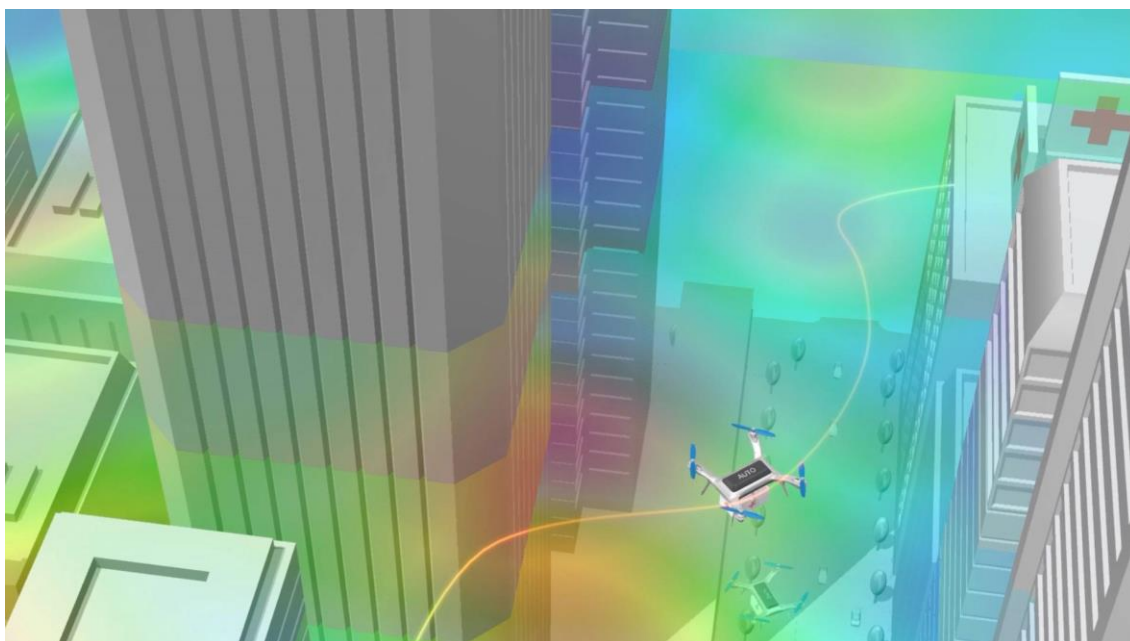
ーへの出資を実行

- リモートセンシング技術を活用した大気計測装置を提供
- 小型高性能ドップラーライダーを各地に設置し管制システムと統合すること

により、より安全な運行システムの実現が可能となる



Drone Fund は、メトロウェザー株式会社に、Drone Fund 2号（正式名称：千葉道場ドローン部2号投資事業有限責任組合）より約7,000万円の出資実行しました。今回の投資は、代表パートナーの千葉がクリエイティブマネージャーを務めるリアルテックファンドと同タイミングで投資・支援を開始する初めての案件となります。両ファンドから社外取締役を派遣し、マネジメントを強めます。Drone Fundからは、共同創業者/代表パートナーの大前創希が社外取締役に就任します。



メトロウェザー株式会社は、リモートセンシング技術を応用した大気計測装置の開発・製作・販売などを中心に事業展開しています。

ドローンは一定方向の風の中ではバランスを保って飛行できますが、乱流や突風によってバランスを崩して落下する危険性があります。ドローンの安全運航に向けて、風況観測を行う必要があります。メトロウェザー社が開発するドップラー・ライダーは、ドローン前提社会に向けて欠かせないツールとなります。

メトロウェザー社の小型高性能ドップラーライダーは、各基地局やビルの屋上などに配置することが可能であり、管制システムと統合することで、天候や運航状況を詳細に把握することにより、さらに安全な管制システムの構築の支援を行いドローン前提社会の到来を目指します。

Drone Fund は、ドローン関連のスタートアップに特化したファンドとして千葉功太郎により設立されました。2号ファンドでは、「ドローン前提社会」と「エアモビリティ社会」の実現をテーマにグローバルな投資活動を行っています。

メトロウェザー株式会社について

社名： メトロウェザー株式会社
代表： 代表取締役 東 邦昭
所在地： 宇治市五ヶ庄西浦 20-21 奥田ビル 3 階
主な事業内容： リモートセンシング技術を応用した大気計測装置の開発・製作・販売
 気象情報と IoT を組み合わせたマーケティングおよびソリューション
 の提供
 気象観測および予測データ、防災オペレーション支援情報の提供
ウェブサイト： <https://www.metroweather.jp/>

Drone Fund について

略名称： Drone Fund (ドローンファンド)
正式名称： 千葉道場ドローン部 2 号投資事業有限責任組合
運営会社： 鎌倉インベストメント株式会社、千葉功太郎
所在地： 東京都港区芝公園 3-1-8 アネックス 6F
ウェブサイト： <http://dronefund.vc>

本発表資料のお問い合わせ先

Drone Fund 広報担当： pr@dronefund.vc
プレスリリース内画像素材： [ダウンロード](#)